

平成30年度

事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人日本デザイン振興会

①グッドデザイン賞事業

2018年度グッドデザイン賞は、新たに審査委員長に柴田文江氏、審査副委員長に齊藤精一氏を迎えた。事業を始めるにあたり「人が人を想う中から生み出されるものごとが、どれほど志高く、美しいデザインへと昇華されているかに着目する」というメッセージを提示した。デザインによるクオリティの高い課題解決方法を積極的に見つけていく方針のもと、グッドデザイン賞が持つ「発見」「共有」「創造」のサイクルをより拡充させることに努めた。

応募と受賞

2018年度グッドデザイン賞は4月4日から募集を開始し、1998年の民営化以降最多となる4,789件のデザインに対して審査を行い、10月3日に1,353件の受賞を発表した。また10月31日にはグッドデザイン大賞、金賞、グッドフォーカス賞各賞を発表した。

審査対象数：4,789件

受賞数：1,353件

受賞企業数：945社

うち、東日本大震災復興支援措置に基づく受賞：30件

(福島県、宮城県、岩手県に本拠を置く応募者に対する費用免除などの措置を実施)

同 海外デザイン賞連携による受賞：31件

(賞連携を行っているタイ、インド、シンガポール、トルコのデザイン賞受賞対象からグッドデザイン賞への応募による受賞)

同 グッドデザイン・アセアンデザインセレクション選定：22件

(国際機関日本アセアンセンターとの共同事業による受賞)

※受賞発表後に、受賞の取り消しが1件発生した。

特別賞の内訳

グッドデザイン大賞(内閣総理大臣賞)：1件

グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)：19件

グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]：3件

(経済産業省 大臣官房 商務・サービス審議官賞)

グッドフォーカス賞[技術・伝承デザイン]：3件

(中小企業庁長官賞)

同[地域社会デザイン]：3件(日本商工会議所会頭賞)

同[復興デザイン]：3件(日本デザイン振興会会長賞)

審査体制

多様な応募対象を適切に審査するために、2018年度も様々な領域の専門家を新たに迎えて総勢84名の審査体制を整えた。

また、「グッドデザイン・ベスト100」を特別賞候補として明確に位置付けるため、特別賞選考の最終プロセスとして、「ベスト100プレゼンテーション公開審査」を実施した。

さらに、二次審査会に外国人の審査委員14名を招聘し、グローバルな観点からのデザイン評価と共通理解を促すことにも努めた。



GOOD
DESIGN



グッドデザイン賞二次審査会場



グッドデザイン賞受賞祝賀会

フォーカス・イシュー

フォーカス・イシューは、デザインの領域から社会課題に対する働きかけを行い、今後の社会におけるデザインの役割と可能性を見出す取り組みである。4年目となる2018年度は、過去3年の実績を踏まえて制定した7つのフォーカス・イシューに対して、各ディレクターが受賞デザインの言説化を行い、提言集としてまとめた。

■2018年度フォーカス・イシューおよびディレクター

- 「働き方を変える」長田英知（ストラテジスト）
- 「ローカリティを育む」西田司（建築家）
- 「社会基盤を築く」井上裕太（プロジェクトマネジャー）
- 「技術を活かす」石川俊祐（デザインディレクター）
- 「学びを高める」水野祐（弁護士）
- 「生活価値を見出す」芦沢啓治（建築家、デザイナー）
- 「共生社会を描く」太刀川英輔（デザインストラテジスト）



フォーカス・イシュー・ディレクターによるプレゼンテーション



フォーカス・イシュー提言集

グッドデザイン・ベスト100

すべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、特に高い評価を得た100件が「グッドデザイン・ベスト100」。グッドデザイン大賞や金賞などの候補になるとともに、今後の各分野のデザインを先導するベンチマークとなりうるデザインに位置づけられている。

グッドデザイン大賞

グッドデザイン大賞は、すべての受賞デザインの中から1件が選ばれ、テーマ性・時代性・社会性などの面でその年度のシンボルとなるデザインとして位置付けられる。2018年度は10月31日に6件のファイナリスト（大賞候補）を発表し、同日、グッドデザイン賞の審査委員と受賞者および受賞展来場者による投票を実施し「おてらおやつクラブ」が選出された。



2018年度グッドデザイン大賞 NPOおてらおやつクラブ

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞は、ユーザーから長年にわたり支持されることで将来にわたって生活の質を築く価値を持ったデザインを讃えるとともに、よいものを長く使い続けることの意義を社会に示す賞である。2018年度はユーザーやデザイナーなどにより推薦された274件の中から、審査の結果19件が受賞した。



グッドデザイン大賞選出

グッドデザインエキシビション2018

受賞プロモーションの中核企画として、2018年度グッドデザイン賞受賞デザイン全件の紹介を中心に、「グッドデザイン・ベスト100」特別展示、受賞数ランキング上位企業によるスーペリアカンパニー展示などをはじめ、フォーカス・イシュー・トークなど、多面的なプログラムで開催した。

また、野原ホールディングスの協力により「GOOD DESIGN STORE by NOHARA」のポップアップショップを期間中に展開し賑わいを醸した。



グッドデザインエキシビション2018

会期：10月31日～11月4日
会場：東京ミッドタウン
来場者数：23,254名（ミッドタウン・ホール、カンファレンスのみ／1日平均4,651名）
来街者数：256,313名（オープンスペース含む／1日平均51,263名）

私の選んだ一品展

グッドデザイン賞審査委員のお気に入り最新受賞作=「一品」を、書き下ろしのコラムとともに紹介する展示会を開催した。

会期：10月3日～11月4日
会場：GOOD DESIGN Marunouchi
来場者数：9,867名

受賞デザインを知るツアー

受賞展の関連企画として、グッドデザイン賞を受賞したデザインの現場を訪問し、受賞企業やデザイナーが直接説明するツアー企画を全国で計12件実施した。

グッドデザイン賞における復興支援

2011年度からの東日本大震災復興支援特例措置を継続し、岩手県、宮城県、福島県を本拠とする事業者からのグッドデザイン賞応募に要する費用などを無償にしている。2018年度は対象地域から30件がグッドデザイン賞を受賞した。また、グッドフォーカス賞[復興デザイン]には3件が選ばれた。

説明会・報告会

グッドデザイン賞の理念や応募情報に関する説明会を、4月から5月にかけて国内12地点で計20回実施した。新潟や京都では審査委員によるセミナーを行ったほか、審査の視点セミナーや審査体験ワークショップ、個別相談会なども各地で開催した。

受賞発表後は、当年度の傾向やポイントについて審査委員が説明する報告会を審査ユニットごとに実施し、受賞者を中心とする多くの参加があった。

出版

2018年度受賞デザイン全件を掲載した『GOOD DESIGN AWARD 2018』を、2019年3月に発刊した。



私の選んだ一品展



受賞デザインを知るツアー



応募説明会スペシャルトーク



『GOOD DESIGN AWARD 2018』

グッドデザイン大賞・金賞・特別賞

グッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）

- ・貧困問題解決に向けてのお寺の活動 おてらおやつクラブ／特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）

- ・絵本 1人称童話シリーズ／久下裕二＋市川千恵＋鈴木久恵
- ・ファスナー QuickFree®（クイックフリー）／YKK株式会社
- ・エンタテインメントロボット aibo／ソニー株式会社
- ・35ミリフルサイズデジタル一眼レフカメラ PENTAX K-1 アップグレードサービス／株式会社リコー
- ・4K有機ELテレビ ブラビア® A9Fシリーズ／ソニー株式会社＋ソニービジュアルプロダクツ株式会社
- ・Gogoro Energy and Transportation Platform Gogoro Energy Network＋Gogoro Smartscooter／Gogoro Inc.
- ・乗用車 ジムニー・ジムニーシエラ／スズキ株式会社
- ・特急車両 小田急電鉄 70000形特急車両 ロマンسカー GSE／小田急電鉄株式会社＋株式会社岡部憲明アーキテクチャーネットワーク＋日本車輛製造株式会社
- ・ポータブルX線撮影装置 FUJIFILM CALNEO Xair／富士フイルム株式会社
- ・プラネタリウム投映機 コスモリープ Σ／コニカミノルタ株式会社
- ・戸建住宅 淡路島の住宅／株式会社SUEP.
- ・宿泊施設 hanare／株式会社HAGI STUDIO
- ・駅前広場と道路空間からなる景観 丸の内駅前広場から行幸通りに繋がる景観／東日本旅客鉄道株式会社＋東京都
- ・堤防のリノベーション 木津川遊歩空間「トコトコダンダン」／岩瀬諒子設計事務所＋大阪府立江之子島文化芸術創造センター＋東京製綱株式会社＋小岩金網株式会社＋太平洋プレコン工業株式会社 大阪支店＋大光電機株式会社＋セントラルコンサルタント株式会社 大阪支社＋株式会社復建技術コンサルタント 関西支店＋トコトコダンダンの会
- ・津波避難訓練アプリ 逃げトレ／京都大学防災研究所矢守研究室
- ・農業と食文化の地域内循環システム フードハブ・プロジェクト／株式会社フードハブ・プロジェクト＋神山町役場＋一般社団法人神山つなぐ公社＋株式会社モノサス
- ・ミズベリング・プロジェクト／ミズベリング・プロジェクト事務局
- ・国際芸術祭 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレおよび大地の芸術祭の里の取り組み／大地の芸術祭実行委員会＋NPO法人越後妻有里山協働機構
- ・Bamboo Bicycle Spedagi Rodacilik/ Minivelo, Gowesmulyo/ Joybike／CV Piranti Works

グッドフォーカス賞 [新ビジネスデザイン]（経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞）

- ・ぬいぐるみ オーダーメイドのぬいぐるみ「クリッチャ」／エソラワークス
- ・全国路線バス情報整備の取り組み ナビタイム全国バスデータ整備プロジェクト／株式会社ナビタイムジャパン
- ・サービス付き高齢者向け住宅 ゆいま〜る高島平／株式会社コミュニティネット＋株式会社プラスニューオフィス

グッドフォーカス賞 [技術・伝承デザイン]（中小企業庁長官賞）

- ・スポーツアイウェア SWANS E-NOX NEURON／山本光学株式会社
- ・ウェアラブルチェア アルケリス／西村拓紀デザイン株式会社＋株式会社ニッター
- ・鉄骨・鉄筋コンクリートカッター ガジラDSカッター シリーズ／株式会社タグチ工業

グッドフォーカス賞 [地域社会デザイン] (日本商工会議所会頭賞)

- ・喫茶店 喫茶ランドリー/株式会社グランドレベル+株式会社ブルースタジオ+石井大吾デザイン室一級建築士事務所
- ・地域包括ケア支援システム ナラティブブック秋田/クロスケアフィールド株式会社+一般社団法人由利本荘医師会
- ・City Service-car The Gifted City/Agoood

グッドフォーカス賞 [復興デザイン] (日本デザイン振興会会長賞)

- ・共同住宅 (災害公営住宅) 釜石市の復興公営住宅 (大町復興住宅1号、天神復興住宅) /株式会社千葉学建築計画事務所+大和ハウス工業株式会社 岩手支店+釜石市+東北大学大学院工学研究科小野田泰明研究室
- ・小学校、中学校、児童館 釜石市立唐丹小学校・釜石市立唐丹中学校・釜石市唐丹児童館/乾久美子建築設計事務所+釜石市+東北大学大学院工学研究科小野田泰明研究室+東京建設コンサルタント
- ・地図集制作活動 福島アトラス-原発事故避難12市町村の復興を考えるための地図集制作活動-/特定非営利活動法人福島住まい・まちづくりネットワーク+明治大学 建築史・建築論研究室+工学院大学 建築学部 篠沢研究室+東京大学 復興デザイン研究体+株式会社中野デザイン事務所+川尻 大介+野口理沙子+一瀬健人/イスナデザイン+株式会社ふたば+日本大学 工学部 浦部智義研究室+株式会社はりゅうウッドスタジオ

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞 (日本デザイン振興会会長賞)

- ・シューズ キャンバスオールスター/コンバースジャパン株式会社
- ・ICカード乗車券 Suica/東日本旅客鉄道株式会社
- ・ソフト・アプリケーション 駅すばあと/株式会社ヴァル研究所
- ・東京タワー 東京タワー/日本電波塔株式会社
- ・絵本 はらべこあおむし/株式会社偕成社
- ・アニメーション作品 機動戦士ガンダムシリーズ/株式会社サンライズ
- ・キャラクター ゴジラ/東宝株式会社
- ・鉄道玩具 プラレール/株式会社タカラトミー
- ・乗用車 キューブ/日産自動車株式会社
- ・汎用エンジン GXシリーズ (代表機種: GX200) /本田技研工業株式会社
- ・スクラップブック スクラップブックD/コクヨ株式会社
- ・しょうゆさし G型しょうゆさし/白山陶器株式会社
- ・ボトル缶 ニューボトル缶/大和製罐株式会社
- ・ビール アサヒ スーパードライ/アサヒビール株式会社
- ・食品 「お茶づけ海苔」ほかお茶づけレギュラーシリーズ/株式会社永谷園
- ・チーズ 雪印メグミルク 6Pチーズ/雪印メグミルク株式会社
- ・無菌包装米飯 サトウのごはん 新潟県産コシヒカリ/佐藤食品工業株式会社
- ・成型ポテトチップス チップスター/ヤマザキビスケット株式会社
- ・インスタントラーメン チキンラーメン/日清食品株式会社



ロングライフデザイン賞審査会



ロングライフデザイン賞ノミネート展



ロングライフデザイン賞受賞展

審査委員長メッセージ

本日、2018年度のグッドデザイン賞受賞結果を発表しました。受賞されたデザインに関わる皆様に心よりお祝いを申し上げます。

2018年度のグッドデザイン賞の審査では、デザインが持っている力や可能性に目を向けて、それを引き出すことを心がけました。いま、デザインはますます私たちの暮らしとの関わりを強めています。社会課題の解決策を示すこと、何かを変えるための力になること、誰もが幸せを感じられることなど、デザインのもたらす価値が社会全体で共有されるようになっていきます。そのような状況を導く上で、いまデザインとして見立てられるものごとの水準を確かめる、いわばデザインのベンチマークを定める役割を担ってきたのが、グッドデザイン賞です。

これから、デザインはさらに私たちの暮らしの中に広く行き渡り、深く根ざしていくことなのでしょう。だからこそ、グッドデザイン賞は、ベンチマークからさらに一歩踏み込んで、この先に向けた指標となれるようなデザイン、ものごとの「起点」に位置付けられる確かな力と可能性を持ったデザインを見つけ出し、示せることが大切であるように考えました。

今年のグッドデザイン賞で「美しさ」をキーワードにしたのは、それが、私たちがデザインによってこれからの社会を築いていく上で欠かせないと考えたからです。私たち審査委員は、審査の過程で「美しさ」をめぐってこれまでにないほどの議論を重ねました。

「美しさ」とは単に一つの意味に収まるものでなく、様々な意味を持ち、時代とともに変化し続ける概念として捉えるべきです。今年のグッドデザイン賞で私たちが見出した「美しさ」は、ものごとを社会的・総合的な視点で見たときに感じられるよさ、皆で考え高めていくことができるよさ、いま私たちが生きるシーンにそれがあることを、私たち自身が誇りや悦びに感じられるようなよさ、そのような「よさ」がもたらす「美しさ」であったように思います。そして、こうした「美しさ」を社会で共有できるのが、まさしくデザインの力なのではないか。ここまでの審査を通じてそう実感しています。

2018年10月3日



柴田文江審査委員長



齋藤 精一審査副委員長

審査委員会

審査委員長 柴田 文江 (プロダクトデザイナー)

審査副委員長 齋藤 精一 (クリエイティブ/テクニカルディレクター)

審査委員

●ユニットリーダー ○フォーカス・イシュー・ディレクター *海外ゲスト審査委員

ユニット01:生活プロダクト (小物類)

●原田 祐馬 アートディレクター/デザイナー
安東 陽子 テキスタイルデザイナー・コーディネーター
濱田 芳浩 プロダクトデザイナー
宮沢 哲 デザインディレクター/プロダクトデザイナー
Jung-Ya Hsieh 発明家

ユニット02:生活プロダクト (趣味・健康用品)

●鈴木 啓太 プロダクトデザイナー
川上 典季子 ジャーナリスト
根津 孝太 クリエイティブコミュニケーター
吉泉 聡 デザイナー/クリエイティブディレクター
*Patrakit Komolkiti インダストリアルデザイナー

ユニット03:生活プロダクト (生活雑貨・日用品)

●手槌 りか プロダクトデザイナー
○芦沢 啓治 建築家/デザイナー
松本 博子 プロダクトデザイナー
山田 遊 バイヤー/監修者
Huiming Tong インダストリアルデザイナー

ユニット04:生活プロダクト (キッチン・家電)

●鈴木 元 プロダクトデザイナー
○井上 裕太 プロジェクトマネージャー
玉井 美由紀 CMFデザイナー
渡辺 弘明 インダストリアルデザイナー
*Alex Terzariol インダストリアルデザイナー
Byung-wook Chin インダストリアルデザイナー

ユニット05:情報機器

●片岡 哲 プロダクトデザイナー
○石川 俊祐 デザイナー
石川 温 ITジャーナリスト
榎 勝彦 プロダクトデザイナー/デザイン研究者
林 千晶 プロジェクトマネージャー
De Liu デザインディレクター

ユニット06:家具・住宅設備

●橋田 規子 プロダクトデザイナー
寺田 尚樹 建築家/デザイナー
二俣 公一 空間・プロダクトデザイナー
安西 葉子 デザイナー
*Dino Fabriant インダストリアルデザイナー

ユニット07:モビリティ

●菅原 義治 デザインディレクター
佐藤 弘喜 デザイン学研究者
野原 卓 都市デザイナー/都市デザイン研究者
森口 将之 モビリティジャーナリスト
Hridaysh Deshpande デザイン教育者/コンサルタント

ユニット08:医療・生産プロダクト

●田子 学 アートディレクター/デザイナー
石川 善樹 予防医学研究者
内田 まほろ キュレーター
重野 貴 プロダクトデザイナー
*Sertaç Ersayın インダストリアルデザイナー

ユニット09:店舗・公共プロダクト

●寛角 光伸 プロダクトデザイナー
朝倉 重徳 インダストリアルデザイナー
五十嵐 久枝 インテリアデザイナー
長町 志穂 ライティングデザイナー
Jongrae Park 空間デザイナー

ユニット10:住宅 (戸建て~小規模集合住宅・工法)

●仲 俊治 建築家
小見 康夫 建築構法学研究者
手塚 由比 建築家
板澤 麻利 建築家
Shu-Chang Kung 建築家/インテリアデザイナー

ユニット11:住宅 (中~大規模集合住宅)

●篠原 聡子 建築家
○西田 司 建築家
猪熊 純 建築家

ユニット12:産業商業公共の建築・インテリア

●山梨 知彦 建築家
浅子 佳英 建築家/デザイナー
石川 初 ランドスケープデザイナー
色部 義昭 グラフィックデザイナー
永山 祐子 建築家
Gary Chang 建築/インテリアデザイナー

ユニット13:メディア・コンテンツ・パッケージ

●鹿野 護 アートディレクター
河瀬 大作 テレビプロデューサー
平林 奈緒美 アートディレクター/グラフィックデザイナー
水口 克夫 アートディレクター
水口 哲也 メディアデザイナー
Chi mei Chang グラフィックデザイナー

ユニット14:一般・公共用アプリケーション・システム・サービス

●ドミニク・チェン 情報学研究者
閑歳 孝子 エンジニア
○長田 英知 ストラテジスト
藤崎 圭一郎 デザイン評論家/編集者
*Andrew Pang プロダクトデザイナー

ユニット15:BtoBソフトウェア・システム・サービス・取り組み

●廣田 尚子 デザインディレクター
佐々木 千穂 ユーザーエクスペリエンスデザイナー
田中 仁 経営者
深津 貴之 インタラクティブデザイナー
○水野 祐 弁護士

ユニット16:一般・公共向け取り組み

●岩佐 十良 クリエイティブディレクター
伊藤 香織 都市研究者
○太刀川 英輔 デザインストラテジスト
並河 進 クリエイティブディレクター
服部 滋樹 デザイナー/クリエイティブディレクター

韓国審査ユニット

●渡辺 弘明 インダストリアルデザイナー
閑歳 孝子 エンジニア
Byung-wook Chin インダストリアルデザイナー
Jongrae Park 空間デザイナー

台湾審査ユニット

●山田 遊 バイヤー/監修者
柴田 文江 プロダクトデザイナー
松本 博子 プロダクトデザイナー
Chi mei Chang グラフィックデザイナー
Jung-Ya Hsieh 発明家
Shu-Chang Kung 建築家/インテリアデザイナー

中国・香港審査ユニット

●朝倉 重徳 インダストリアルデザイナー
齋藤 精一 クリエイティブディレクター/テクニカルディレクター
鈴木 元 プロダクトデザイナー
ドミニク・チェン 情報学研究者
De Liu デザインディレクター
Gary Chang 建築/インテリアデザイナー
Huiming Tong インダストリアルデザイナー

海外デザイン賞との連携応募に対する審査

朝倉 重徳 シンガポールグッドデザインマーク (シンガポール)
菅原 義治 インディアデザインマーク (インド)
渡辺 弘明 グッドデザインインドネシア (インドネシア)
鈴木 元 デザインターキー (トルコ)
水口 克夫 デザインエクセレンスアワード (タイ)
安西 葉子 デザインエクセレンスアワード (タイ)

ASEANデザインセレクションによる審査

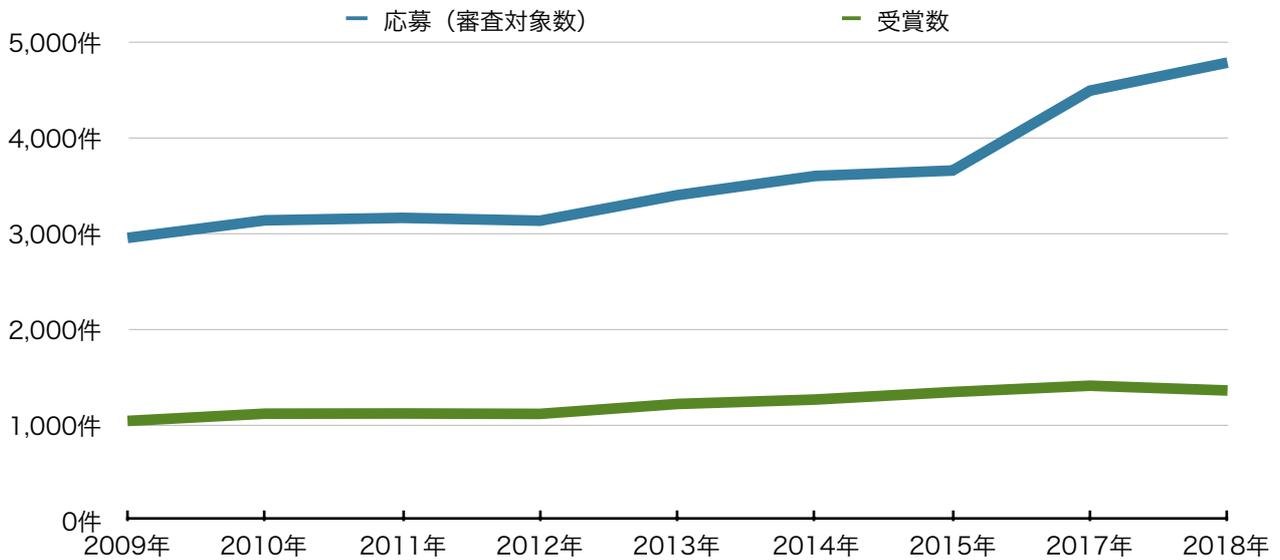
朝倉 重徳 シンガポール担当
佐々木 千穂 マレーシア審査担当
手槌 りか タイ・ラオス審査担当
橋田 規子 フィリピン審査担当
渡辺 弘明 インドネシア審査担当

グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員会

柴田 文江 プロダクトデザイナー
齋藤 精一 クリエイティブ/テクニカルディレクター
齋藤 峰明 実業家
福光 松太郎 実業家

事業実績

グッドデザイン賞応募数、受賞数の推移



2018年度都道府県別受賞件数

北海道	7	埼玉県	22	岐阜県	9	島根県	0	佐賀県	1
青森県	2	千葉県	16	静岡県	29	鳥取県	0	長崎県	4
岩手県	7	東京都	595	愛知県	46	岡山県	5	熊本県	3
宮城県	14	神奈川県	52	三重県	3	広島県	11	大分県	1
秋田県	2	新潟県	28	滋賀県	5	山口県	2	宮崎県	2
山形県	4	富山県	8	京都府	22	徳島県	3	鹿児島県	4
福島県	11	石川県	6	大阪府	156	香川県	6	沖縄県	3
茨城県	4	福井県	13	兵庫県	40	愛媛県	5		
栃木県	3	山梨県	0	奈良県	6	高知県	1		
群馬県	1	長野県	21	和歌山県	3	福岡県	13		

2018年度海外地域別受賞件数

ブルネイ	3	香港	7	ラオス	2	シンガポール	6	タイ	20
カンボジア	2	インド	3	マレーシア	5	スロベニア	1	イギリス	1
カナダ	1	インドネシア	6	ミャンマー	1	韓国	49	アメリカ	11
中国	82	イスラエル	1	オランダ	1	スイス	2	ベトナム	1
ドイツ	4	イタリア	5	フィリピン	4	台湾	60		

スケジュール

2018年3月6日	グッドデザイン賞開催要綱等、ロングライフデザイン賞実施要領の公開
4月4日-5月23日	グッドデザイン賞の応募受付期間 ロングライフデザイン賞推薦受付期間
5月31日-6月26日	一次審査期間
6月1日	ロングライフデザイン賞審査対象決定
6月27日	一次審査結果通知
7月5日-9月4日	二次審査期間
7月27日-9月2日	ロングライフデザイン賞ノミネートデザイン展
7月31日-8月2日	二次審査会・日本
8月7-9日	二次審査会・台湾
8月9-10日	二次審査会・韓国
8月15-17日	二次審査会・香港
8月22日	グッドデザイン賞確定会、グッドデザイン・ベスト100選考会
9月5日	二次審査結果通知
10月3日	受賞発表
10月3日-11月4日	私の選んだ一品2018
10月10日	ベスト100プレゼンテーション公開審査、特別賞審査会
10月31日	グッドデザイン賞受賞祝賀会、グッドデザイン大賞選出
10月31日	グッドデザイン大賞、特別賞発表
10月31日-11月4日	グッドデザインエキシビション2018
12月3日	グッドデザイン特別賞贈賞式
2019年3月28日	受賞年鑑『GOOD DESIGN AWARD 2018』発行



②海外事業

2018年度はグッドデザイン賞を主軸とした国際交流活動をさらに充実させた。また、2018年度グッドデザイン大賞は、海外からも大きな反響を呼ぶなど、日本のデザインに対する注目は一層高まってきている。こうした状況を背景に、国際交流の促進やデザイン関連団体との協力関係構築に積極的に取り組んだ。

デザイン賞連携・運営支援

各国の産業振興及びデザイン振興を目的とした「デザイン賞連携」は、タイ「デザインエクセレンスアワード」、インド「インディアデザインマーク」、シンガポール「シンガポールグッドデザインマーク」、トルコ「デザインターキー」及びインドネシア「グッドデザインインドネシア」と5カ国に達した。

2018年度は初めて「グッドデザインインドネシア」受賞者によるグッドデザイン賞への応募があり、5件が受賞した。

また、受賞展「グッドデザインエキシビジョン2018」において、タイ、インドに加えて初めてインドネシアがブース出展し、受賞対象を含めた14件を展示した。

アセアンデザインセレクション

アセアンデザインセレクションは、2017年度および2018年度の2カ年の事業として、国際機関日本アセアンセンターとの共同プロジェクトとして実施した。2年目の2018年度は、前年度に選定されグッドデザイン賞に応募された36件に対して審査を実施し、22件が受賞した。このうちインドネシアの「Spedagi Bamboo Bicycle」は、グッドデザイン金賞も受賞し大きな成果となった。受賞展では特別ブース展示を行った他、3月7日から19日の間GOOD DESIGN Marunouchiでも企画展示を実施。関連企画としてGOOD DESIGN STORE by NOHARAで一部商品の販売も実施するなど、フォローアップも行った。

国際交流

グラフィックや広告において世界的な権威を誇るイギリスのアワード、Design and Art Direction Award (D&AD) との交流が再開し、改めて相互のプロモーションに関する覚書を締結した。これに基づき受賞展期間中にD&ADの代表者が来日し、受賞者も招きステージでトークイベントを実施した。

また、昨年度覚書を締結したイタリアインダストリアルデザイン協会 (ADI) からグッドデザイン賞のゲスト審査委員を招聘し、グッドデザイン賞への理解促進をはかった。

さらに、デザイン賞連携で交流のあるインディアデザインマークの事務局を仲介して、世界のトップ・グラフィックデザイナーが加盟する国際グラフィック連盟 (Alliance Graphique Internationale, AGI) が「AGI in India」を初めてインドで開催した。トークセッションやワークショップなど2日間のプログラムで現地の学生やデザイナーからの大きな反響を得ることに繋がった。



受賞展での「インドネシアブース」



受賞展でのアセアンデザインセレクション特別ブース



グッドデザイン金賞を受賞したインドネシアの Bamboo Bicycle



「AGI in India」での佐藤卓氏の講演

インターナショナル・メディアパートナー

海外でのグッドデザイン賞に対する認知度向上を目指し、2018年度も受賞展「グッドデザインエキシビション2018」のメディアパートナーとして、下記の海外媒体4社を招聘し、受賞展と受賞祝賀会の見学、受賞デザイナーや審査委員のインタビューなどの機会を提供した。

特に日本設計小站やLa Vieの報道は反響が大きく、「おてらおやつクラブ」への寄付が台湾や中国から多数集まるなど効果が高かった。

La Vie (台湾) / designboom (イタリア) / YANKO Design (グローバル) / 日本設計小站 (中国)



③広報事業

日本デザイン振興会では、様々なパートナーと連携し「場」を使ったプロモーション活動を積極的に行っている。2007年からは東京ミッドタウン・デザインハブとインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターを、2014年からはグッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報機会としてGOOD DESIGN STOREの展開を、2015年からはGOOD DESIGN Marunouchiを開設し、展示会やセミナーなど通じて様々な関与者を巻き込みながら、デザインが持つ社会的価値を広く訴求している。

GOOD DESIGN Marunouchi

日本国内で初となる常設型の広報拠点としてオープンしたGOOD DESIGN Marunouchiは、2018年度末で開設3年半を迎えた。2018年度は計20の企画展と16本のイベントを実施し、年間来場者数は6万3000人を超えた。

グッドデザイン賞関連では、ロングライフデザイン賞ノミネートデザイン展、審査委員のお気に入りを紹介する「私の選んだ一品展」、アセアンデザインセレクション展のほか、歴代の受賞デザインのアーカイブを整理したコレクション展などを企画・運営した。また、当会以外の企業・団体の企画・運営による展示として、地域資源の活用や社会的課題に対するデザインに取り組む企業の展示発表、友好関係を結ぶアジア各国のデザイン展、企業の壁を超えたインハウスデザイナーの有志によるデザイン展など多様な展示を行った。

グッドデザイン賞の発信の場に加え、日常生活や社会とデザインの関係性を見出す場、日本をはじめとするアジアの最新のデザインを知るスペースとして、国内外の幅広い世代の方々が来場する場となっている。



「私が選んだ一品」展



フィリピンデザイン展

2018年度開催の企画展示

名称	会期	実施主体	入場者数
グッドデザイン大賞受賞企画展 Venoa!Venoa!Venoa!	3/27~4/11	ヤマハ株式会社（企画）	2,137名
DESIGN FOR A BETTERMENT アジアデザイン賞展示会	4/17~29	香港デザインセンター	1,532名
GOOD DESIGN COLLECTION Gマーク大全—125の物語、125のデザイン セレクション展	5/2~17	日本デザイン振興会	4,094名
グッドデザインのテキスト2018 Part1	5/20~6/19	日本デザイン振興会	3,962名
hickory03travelers アレコレ展	6/25~7/1	hickory03travelers	701名
グッドデザインのテキスト2018 Part2	7/3~7/25	日本デザイン振興会	4,647名
グッドデザイン・ロングライフデザイン賞ノミネートデザイン展	7/27~9/2	日本デザイン振興会	6,791名

グッドデザインコレクション&ロングライフ デザイン賞アーカイブ展示	9/5~9/17	日本デザイン振興会	1,627名
2018 台湾 地方創生展ーデザインによる地 域イノベーション	9/21~9/30	台湾・国家発展委員会	1,182名
私の選んだ一品2018	10/3~11/4	日本デザイン振興会	9,867名
フィリピンデザイン展 Go! Lokal!	11/8~11/18	フィリピン貿易産業省輸出振興局	1,976名
椅子のデザイン展 -sumaisu-	11/20~11/29	多摩美術大学環境デザイン学部	1,740名
ASPac AWARD 2018展	12/6~12/15	国際交流基金/アスパック協会	4,192名
GOOD DESIGN AWARD 2018 燕三条展	12/17~12/27	燕三条地場産業振興センター	6,847名
有楽町町歩きマップ展	1/8~1/10	日本デザイン振興会	79名
1kg展	1/11~ 1/25	ジャパンオートモーティブインテリ アデザイナーズ	5,464名
モノ：ファクトリーの施策と展示	1/27~2/10	株式会社モノファクトリー（企画）	876名
2019春・出かけたくなるグッドデザイン	2/17~3/5	日本デザイン振興会	2,300名
アセアンデザインセレクション	3/7~3/19	日本デザイン振興会、日本アセアン センター	866名
すみだモダン2018発表展示会	3/21~3/31	東京都墨田区	1,995名



東京ミッドタウン・デザインハブ

日本デザイン振興会、日本グラフィックデザイナー協会、武蔵野美術大学デザイン・ラウンジの三者が構成機関を務めるデザイン情報の発信拠点である東京ミッドタウン・デザインハブでは、2018年度もギャラリースペースでの企画展示の開催、東京ミッドタウンと共催による「東京ミッドタウン・デザイン部」活動、国際ナショナル・デザイン・リエゾンセンターを活用したデザインをテーマとする企画展やセミナー、ワークショップなどを複合的に展開した。デザインの専門性を深めたり、デザインと周辺領域をつなげる機会のほか、ワーカーや施設来館者に対して、気軽にデザインの視点を知れる機会を提供している。

Tokyo Midtown

DESIGN



デザインハブ企画展示

2018年度は計10企画を実施し、合計で66,000名を超える来場者を記録した。デザインハブ合同展として開催した「ゼミ展」他、「日本のグラフィックデザイン2018」、武蔵野美術大学企画による「企（たくらみ）展」、JAGDAによる「つながりの展覧会」などが注目を集めた。また、夏のキッズウィークには全期間家族で楽しめるイベントを実施した。

2018年度開催の企画展示

名称	会期	実施主体	入場者数
第72回企画展 JAGDAつながりの展覧会 Part 1 マスキングテープ	3/16～ 4/22	日本グラフィックデザイナー協会	6,190名
デザインマネジメントエキスポ2018	5/11～5/27	DMN	3,410名
第73回企画展 日本のグラフィックデザイン 2018	6/20～7/31	日本グラフィックデザイナー協会	22,537名
東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク2018	8/5～8/12	東京ミッドタウン・デザインハブ	330名
第74回企画展 ゼミ展	9/1～9/24	東京ミッドタウン・デザインハブ	7,229名
第75回企画展 JAGDA学生グランプリ2018	9/28～10/14	日本グラフィックデザイナー協会	4,537名
第76回企画展 「企(たくらみ)」展 -ちょっと先の社会をつくるデザイン-	11/25～12/24	武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ、NPOグリーンズ	6,846名
特別展－クラフトNEXT－第57回日本クラフト展	1/6～1/14	日本クラフトデザイン協会	5,064名
第77回企画展 JAGDAつながりの展覧会 Part 2 チャリティ・アート・タンブラー	2/1～ 3/10	日本グラフィックデザイナー協会	6,001名
第78回企画展 AIと共創するグラフィックデザイン	3/15～3/29	日本グラフィックデザイナー協会	4,506名



東京ミッドタウン・デザインハブ・キッズウィーク 2018

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2018年度は、企業やデザイナー、教育研究機関などが企画・運営する9件を開催。IoTをテーマにしたもの、木工によるものづくり、カメラデザイン、空間デザインなど、多様なデザイン領域をプロの指導によって体験するデザインハブならではの本格的なワークショップを行った。

2018年度実施のワークショップ

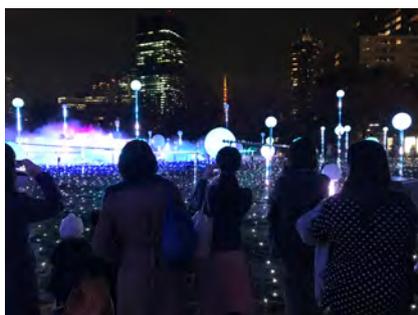
名称	会期	実施主体
夏だ！オリジナルうちわをつくろう！	8/5	オープンハウス+Spedagi Japan
カラーハント！ぼくらの色の秘密基地	8/6	武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 協力：株式会社中川ケミカル
Box Art【虫とわたしの宝箱を創る】	8/7	加藤國康
Monotype「オリジナルナルネームプレート」を作ろう	8/9	Monotype
粘土でフィギュアをつくろう！流れ星をデザインする	8/9	タカハシカオリ
つくって、見て、知る“レンズの世界”	8/10	株式会社ニコン 映像事業部デザイン部
活版印刷でオリジナルのノートをデザインする	8/10	まんまる〇
不思議なシールシートを使って、テキストイルデザイナー・グラフィックデザイナーになってみよう！	8/11	株式会社扶桑 株式会社Good The What
夏休み！親子de わくわくワークショップ「あったらいいな、こんな店」	8/12	日本商環境デザイン協会
この夏、竹でいっぱい遊んじゃおう！	8/7, 8, 10	東京造形大学 スペダギ・トーキョー



東京ミッドタウン・デザイン部

東京ミッドタウン・デザイン部では、東京ミッドタウンや六本木に働く人、住む人、親しみのある人、暮らしに知的好奇心や文化的素養を求める人を対象に、①クリエイティブを仕事や生活に活かし、生き生きと暮らす事を提案する、②デザインを切り口としたサードプレイスの提供を目的として、ギャラリーツアーやトークイベントなどを実施している。東京ミッドタウンの共催による活動で、企画・運営と事務局を当会が行なっている。2018年度は計24プログラムを実施し、延べ参加者数 540名となった。

なお、これ以外に東京ミッドタウンの秋のデザインイベント「東京ミッドタウン・デザインタッチ」の期間中のカンファレンス企画「Designtouch Conference」の企画・運営を受託、11講座を実施した。



2018年度開催企画

名称	実施日	実施主体
東京ミッドタウン・デザインハブ つながり展 ギャラリーツアー	4/20	東京ミッドタウン・デザイン部
六本木未来大学 アフタークラス (佐藤卓)	6/21	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
ギャラリー・間 平田晃久展 ギャラリーツアー	6/27	TOTOギャラリー・間、東京ミッドタウン・デザイン部
アトリエ・オイ トークイベントx ショップツアー	7/3	東京ミッドタウン・デザイン部、HIDA
NOT GREEN ワークショップ	7/5	東京ミッドタウン・デザイン部
東京ミッドタウン・デザインハブ 「日本のグラフィックデザイン2017」 朝のギャラリーツアー	7/24	東京ミッドタウン・デザイン部
ギャラリー・間 平藤村龍至展 ギャラリーツアー	8/29	TOTOギャラリー・間、東京ミッドタウン・デザイン部
東京ミッドタウン・デザインハブ ゼミ展 ギャラリーツアー	9/9	東京ミッドタウン・デザイン部
糸くずと詩 ワークショップ	9/21	東京ミッドタウン・デザイン部
Relax Park 連動企画 「アなるぐ休日」	9/22-24	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
六本木未来大学 アフタークラス (中村貞裕)	9/12	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
六本木未来大学 アフタークラス (於保浩介)	10/11	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
トーク&ツアー 「クリスマスイルミネーションの裏側を知る」	11/21	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
ギャラリー・間 田根剛展 ギャラリーツアー	11/28	TOTOギャラリー・間、東京ミッドタウン・デザイン部
東京ミッドタウン・デザインハブ 企画ギャラリーツアー	11/28	東京ミッドタウン・デザイン部
六本木未来大学 アフタークラス (原研哉)	12/7	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
WIKIPEDIAの日企画・「wikipedianの棚からひとつかみ」	1/21	東京ミッドタウン・デザイン部
六本木未来大学 アフタークラス (クラインダイサム・アーキテクト)	2/6	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン
東京ミッドタウン・デザインハブ つながり展ギャラリーツアー	2/17	東京ミッドタウン・デザイン部
ギャラリー・間 RCRアーキテクト展 ギャラリーツアー	3/7	TOTOギャラリー・間、東京ミッドタウン・デザイン部
東京ミッドタウン・デザインハブ AI展 ギャラリーツアー	3/26	東京ミッドタウン・デザイン部
2019 春・六本木の桜と緑を知る朝ツアー	3/28	東京ミッドタウン・デザイン部、東京ミッドタウン

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

東京ミッドタウン・デザインハブに設けられたインターナショナル・デザイン・リエゾンセンターでは、国内外のデザイン関連機関やデザイン教育機関の事業推進、各種のデザイン活動の活性化促進、デザイン人材育成支援を目的とするセミナーやシンポジウム、ワークショップなどを展開している。2018年度は、引き続きリエゾンセンター加盟機関の実施する人材育成プログラムに会場を提供したほか、「デザイン経営宣言」に連動した連続セミナー、21_21 DESIGN SIGHT展示関連セミナーなど、デザインの議論を深める場として多方面からの要請に対応している。

また、より小規模のデザイン関連活動にもスペースを提供できるよう、短時間のセミナーを低料金で実施できるよう使用料金を改めた。

2018年度開催の主なセミナー、シンポジウム、ワークショップ

名称	実施日	実施主体
ラミー デザインレクチャー「デザインエンジニア山中俊治氏が読み解くLAMYデザイン」	4/1	DKSHジャパン株式会社、日本デザイン振興会
GICグローバル・イノベーター・カンファレンス	5/31	中国貿易促進会、中国国際商会、APEC中国商工理事会、Yインテリジェンス
World Interiors Week 2018 in Japan	5/25,26,28	World Interiors Week in Japan実行委員会
「ハーリ・モデル理論」で真のダイバーシティ社会をデザインする	5/30	ワールド・ワイズ・ウェブ・イニシアティブ、FCAJ
「デザイン経営」宣言 カンファレンス	6/13,7/13	産業競争力とデザインを考える研究会の有志、日本デザイン振興会
第21回文化庁メディア芸術祭 受賞作品展 受賞者トーク/シンポジウム	6/16,23,24	文化庁メディア芸術祭実行委員会
DSAデザインセミナー「空間デザインのこれから」	6/26	日本空間デザイン協会
第52回日本サインデザイン賞二次審査会	6/29	日本サインデザイン協会
価格交渉サポートセミナー	7/1	日本デザイン事業協同組合
「モノとコトの間～『家電分野』から思考するデザインの未来～」	7/27	日本インダストリアルデザイナー協会
サステナブルなコトづくりとモノづくり -Creating Sustainable Thinks and Things-	8/3	株式会社オープンハウス、Spedagi Japan、日本デザイン振興会
「ドイツブランドが世界で成功する理由」	10/6	ベーター・シュミット・グループ、日本デザイン振興会
連続講座『空海とソーシャルデザイン 2018』	9/3,9/18	greenz.jp、日本デザイン振興会
二律背反を克服してグローバル成長企業へ跳躍するワークショップ	9/20	ダイヤモンド社
デザイナーのための実践デザイン思考 ～デザインする喜びとさらなる可能性を探索する2日間～	9/25,28	ダイヤモンド社
JAPAN BRAND FESTIVAL TALK SALOOOON Vol.07	11/14	JAPAN BRAND FES
ファブ3Dコンテスト 2018 最終審査・表彰式	11/23	慶應義塾 慶應義塾大学SFC研究所、国際STEM学習協会
～ジョシビトキメキマジック～	11/27,28	女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 プロダクトデザイン専攻研究室

JAGDA知財権セミナー2019「ピクトグラムの創作と保全」	1/19	日本グラフィックデザイナー協会
『自遊人』発刊記念「未来を変えるソーシャルデザイン」	1/28	株式会社自遊人、日本デザイン振興会
第5回 JST CREST xDiversity シンポジウム in Tokyo	2/4	xDiversity
ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2019 プレス発表会	2/15	旭川家具工業協同組合
「未来の学校祭」ギリギリ・トーク	2/22-24	東京ミッドタウン、アルスエレクトロニカ
スペシャルトーク「フレンチ・デザインとの出会い」	2/22-24	フランス創作家具振興会、日本デザイン振興会



GOOD DESIGN AWARD 神戸展開催協力

神戸市のユネスコ創造都市ネットワーク・デザイン都市認定10周年を記念して、2018年11月23日から12月24日までの期間、神戸ファッション美術館で「GOOD DESIGN AWARD神戸展」が開催された。主催はグッドデザイン賞神戸展実行委員会（神戸市、神戸ファッション美術館、神戸新聞社で編成）で、当会は特別協力体制に基づいた運営への協力を行った。

本展では2018年度グッドデザイン・ベスト100とロングライフデザイン賞受賞作を中心に200点以上が出展され、東京以外の地区で最新年度のグッドデザイン賞受賞作を大規模に紹介する初めての企画展となった。

会期中には展示に加え、グッドデザイン賞審査委員による講演会やトーク、大学生・高校生を対象とした模擬審査ワークショップ、神戸市内受賞物件のガイドツアー、神戸芸術工科大学の学生によるギャラリーツアーなど複数のプログラムが実施され、展示には6,000名以上の来場を記録した。



GOOD DESIGN AWARD神戸展

GOOD DESIGN STORE

グッドデザイン賞受賞商品の販売を通じた広報活動として「GOOD DESIGN STORE」を実施しているが、現在国内では野原ホールディングス株式会社の経営による「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」を、海外では「GOOD DESIGN STORE Bangkok」を支援している。

また、GOOD DESIGN Marunouchiとの連動企画や、受賞展と連動したポップアップショップなども展開している。



GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA

見本市や販売などの対外連携

2018年度も前年度に引き続き、大手新聞社や百貨店などと連携して、見本市や展示会、店頭販売、オンラインショップなどを通してグッドデザイン賞のプロモーション活動を展開した。

■LIVING & DESIGN 10月10日～12日

主催：LIVING & DESIGN 実行委員会 会場：インテックス大阪

■Good Over 50'sくらしのデザイン展 11月14日～27日

主催：そごう・西武 会場：西武池袋本店

■くらしのデザイン展 11月13日～26日

主催：そごう・西武 会場：横浜そごう

■WOODコレクション 2019 1月29日～30日

主催：東京都 会場：東京ビックサイト

■GOOD DESIGN Biz ZONE 2019 3月5日～8日

主催：日本経済新聞社 会場：東京ビックサイト



LIVING & DESIGN



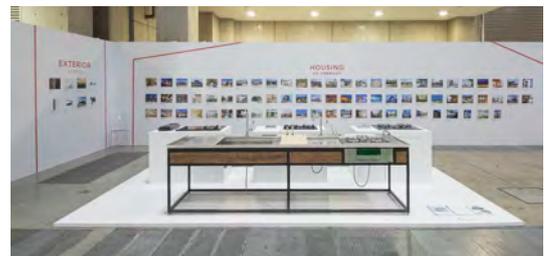
くらしのデザイン展

PR事業

当会事業に関するメディア向け広報として、国内媒体宛にプレスリリースを計15回配信した（内訳：グッドデザイン賞事業関連 8回、国際事業関連 1回、東京都事業関連 6回）。

受賞発表後に「News Zero」（日本テレビ系）と「めざましテレビ」（フジテレビ系）で報道が行われたほか、「ニュースウェブ」（NHK）に特集記事が掲載された。さらに「日経MJ」で金賞をテーマとする特集記事が組まれた。「Pen Online」（CCCメディアハウス）では、媒体自主企画としてグッドデザイン賞特集が実施された。審査プロセスの段階的な取材に基づき、審査委員長インタビューなど、受賞発表後を中心に複数回にわたる特集記事が掲載された。大学生を中心とする就職支援媒体「ガクセイ基地」で「グッドデザイン特集」を組み、大学生による受賞企業インタビューの実施、展覧会レポートなどのコンテンツを計14本連載して、学生層に対する情報発信を試みた。

主要日刊紙における受賞連合広告特集は、11月に朝日新聞・日経新聞・読売新聞の本紙で掲載されたほか、毎日新聞のウェブサイトでも特集コンテンツが組まれた。さらに雑誌「ブレン」（宣伝会議）での特集も12月に実施された。



GOOD DESIGN Biz ZONE 2019



ニュース報道：産経新聞



ニュース報道：めざましテレビ



ニュース報道：News Zero



ニュース報道：日経MJ



ニュース報道：News Zero



ニュース報道：Pen Online

2018年度グッドデザイン賞が決定！ キーワードとなったのは“美しいデザイン”でした。

写真：後藤武浩(インタビュー) 文：小川彩 協力：公益財団法人日本デザイン振興会 2018.10.03

2018年度のグッドデザイン賞が決まりました！ さまざまな分野に浸透する“グッドデザイン”は今年、どのようなものが選ばれたのでしょうか？ 新たに審査委員長に就任した柴田文江さん、副委員長になった廣橋積一さんのおふたりに、今年のグッドデザイン賞について聞きました。

④公共プロモーション事業

東京ビジネスデザインアワード

東京都が主催し、当会が企画運営を行う「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内のもづくり中小企業と優れた課題解決力・提案力を併せ持つデザイナーとの協働による、新しいブランドやビジネスモデルの開発を目的とした、企業参加型のデザイン・事業提案コンペティションで、2018年度で7回目の開催となった。

中小企業が持つ高い技術や特殊な素材を「テーマ」として募集・審査を経て選定し、全国のデザイナーから新規用途開発を軸としたビジネス全体のデザインを募集する事業である。優れた技術力を持つ中小企業と企画提案力のあるデザイナーをマッチングし、ビジネス実現化に向けた支援を行う。知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のための講座などを審査委員やプロジェクトマネージャーと共に伴走型で実施した。

■スケジュール

4月19日	開催概要発表・テーマ募集
7月11日	テーマ審査会
8月16日	テーマ発表・提案募集
11月7日	提案一次審査
11月21日	提案二次審査
12月11日	テーマ賞発表
2019年1月31日	提案最終審査・結果発表・表彰式

■審査委員

廣田尚子	有限会社ヒロタデザインスタジオ 代表（審査委員長）
金谷 勉	有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役
川田誠一	産業技術大学院大学 学長
澤田且成	アイディーテンジャパン株式会社 代表取締役社長 CEO
日高一樹	日高国際特許事務所 所長
南馬越一義	株式会社ビームス ビームス創造研究所 シニアクリエイティブディレクター

■最優秀賞・テーマ賞（1件）

提案：「立体視・金属調印刷物」を唯一無二の素材にするための事業提案 今井裕平、林雄三、木村美智子、鈴木杏奈 (kenma inc.)

テーマ：透明樹脂素材を立体的かつ本物の金属に見せる「立体視・金属調印刷」 株式会社技光堂（板橋区）

■優秀賞・テーマ賞（2件）

提案：灯りと香りで想いを伝えるアロマキャンドルプロダクト 中村知美（LURA Design Studio）

テーマ：ワックス（ロウ）のブレンドにこだわった「キャンドル製造技術」東洋工業株式会社（江東区）

提案：香りの魅力を楽しく学ぶプロダクトの提案 清水覚、山根準、山根芽衣、安次嶺彩香

テーマ：精油の魅力を引き出す「アロマブレンド技術」GRASSE TOKYO株式会社（江東区）



提案最終審査



表彰式



灯りと香りで想いを伝えるアロマキャンドルプロダクト



香りの魅力を楽しく学ぶプロダクトの提案

地方創生・地域づくりデザインプロジェクト

現在、地方においては、地域資源を活用したオリジナリティのある商品やサービスを創出すること、地域の魅力をアピールし外から観光に来てもらうこと、そして住民が地域でいきいきと働くことのできる環境づくりが重要な課題となっている。

本プロジェクトは、地域密着型の金融機関である信用金庫と当会が連携し、自治体ならびにその地域の事業者の新規事業をビジネス面、デザイン面の両方からバックアップすることにより、地域がデザインを活用して成長するための地盤づくりを行うものである。また、デザイン開発には地域のデザイナーを起用することにより、地域でのデザイン活用の推進と継続的な関係づくりを目指している。

高鍋デザインプロジェクト「まんぷく TAKANABE」

宮崎県の高鍋町は、海と山の恵みを受けた農業と商業の盛んな町である。ブランド名の「まんぷく」には、人の心を満たす食の提案として現代社会へのメッセージを込めた。2016年より町の事業者と宮崎県在住のデザイナーによるブランドづくりと商品開発を行い、3年間で18社が参加している。

町内の販売拠点のほか、宮崎空港売店で販売を開始、県内や東京の商談会にも積極的に参加している。また広報活動として商品発表会や「まんぷく新聞」の町内全戸配布等を実施している。さらに、地元の農業大学校や農業高校など教育機関と連携した商品開発も行い、地域と連携してプロジェクトを推進している。

事業主体者：宮崎県児湯郡高鍋町

実施者：高鍋町の事業者18社

商品およびブランドの企画・デザイン：宮崎県在住のデザイナー6名

地域内調整、経営支援、販路拡大支援：高鍋信用金庫

協力機関：信金中央金庫、宮崎県工業技術センター



高鍋デザインプロジェクト

アーキテツ・スタジオ・ジャパンとの協業による広報推進

日本最大の建築家ネットワーク機関であるアーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社との間で、2017年10月から互恵的な広報連携を継続している。2018年度は、同社に加盟する全国の公務店や建築家のネットワークを活用し、全国12地点で開催された建築相談会や展示会でグッドデザイン賞受賞建築家の紹介が行われた。さらに会員向け定期媒体での受賞建築家の紹介の連載が年間を通じて継続されたほか、2018年度グッドデザイン賞の募集告知もネットワークを介して実施された。



アーキテツ・スタジオ・ジャパンとの協業

デザイン振興政策アーカイブ事業

当会創立50周年を記念し、公立大学法人静岡文化芸術大学と共同して「デザイン振興政策アーカイブ」の作成を行っている。主に戦後から2000年代初頭にかけて、日本において国が主体者・管轄者となって実践された、デザイン振興政策に関する答申や報告書などを収集整理し、2019年度にウェブサイトで公開、供覧を開始する予定である。

日本でのデザイン振興政策は、特にアジア圏をはじめとする海外において国家的なデザイン政策の成功事例として高く評価され、それを範とする様々な活動を誘発してきた。一方で、一連の活動に関してはこれまで日本国内においても体系的に整理されてこなかったため、新しいデザイン政策の立案に活かすことが難しいといった課題があった。

同アーカイブは、先人が築いてきた資産を活用すべく、日本のデザイン振興政策に係る文献資料を収集整理するとともに、政策研究のプラットフォームを整備提供する活動として、JSPS科研費の助成を受けて実施していく。



デザイン振興政策アーカイブウェブサイト

⑤人材育成推進事業

当会は創立時からデザイン領域に必要な人材を育てる事業を実施しているが、そのニーズは年々高まってきている。対象も子どもから社会人まで幅広く、また形式も講座的なものだけではなく、研究型やワークショップ、インターンシップ、コンペ参加型など多様な手法で対応をはかっている。特にグッドデザイン賞のリソースを多岐に活用し、社会的に意義のあるプログラムに注力している。さらに2018年度からは、各種の人材育成関連事業をまとめた特設ウェブサイト「Gラボ」を開設した。

グッドデザイン賞学生インターンシップ

グッドデザイン賞では、デザイン業界の第一線で活躍する審査委員が一堂に会する「審査会」を学びの場と捉え、約100名のデザインを学ぶ学生（大学生・専門学校生対象）に体験を提供する「学生インターンシップ・プログラム」を毎年実施している。

フォーカス・イシュー研究会

2018年度はフォーカス・イシューの7つのテーマごとに学生を募り、自らデザインアプローチを企画・提案する「フォーカス・イシュー研究会」を全33名で発足させた。自主的にディスカッションや調査を行い、フォーカス・イシュー・ディレクターとのミーティングなども重ね、受賞展のステージで成果発表を行った。

神戸展での模擬審査ワークショップ

神戸で開催した「GOOD DESIGN AWARD神戸展」の公式プログラムの一環として、大学生・高校生を対象とした模擬審査ワークショップを、神戸芸術工科大学、大阪樟蔭女子大学の協力を得て3日間実施した。

大学生就職支援媒体との連携

大学生を中心とする就職支援媒体「ガクセイ基地」と連携し、大学生による受賞企業インタビューの実施、展覧会レポートなどのコンテンツを計14本連載して、学生層に対する情報発信を試みた。

国際学生デザインコンペへの協力

2013年から世界最大規模の台湾国際学生デザインコンペティションに協力し、JDP特別賞の贈賞と、審査委員を毎年派遣している。2018年は九州大学池田美奈子准教授に審査委員を依頼した。今後も国際コンペ参加機会として日本の学生に広めていく予定である。

宣伝会議賞の中高生部門への参加

広告界の専門誌である宣伝会議が実施しているコピーの公募広告賞宣伝会議賞の中高生部門に、課題提供者として参加し、「グッドデザイン賞ってどんな賞？」を伝えるキャッチフレーズを募集した。



人材育成関連事業をまとめた特設ウェブサイト「Gラボ」



神戸展での模擬審査ワークショップ

審査も気づけよう
グッドデザイン賞はこうして決まる！審査会に潜入！
© 2018 GDMO



「ガクセイ基地」展覧会レポート



宣伝会議賞の「中高生部門」に参加

全国の10代の学生にグッドデザイン賞を知ってもらい、関心を寄せてもらうことにつながった。

最終的に東京都の15歳の中学生の作品が協賛企業賞に選ばれた。

■「ほら、君のとなりにグッドデザイン。」

デザインハブ・キッズウィーク

東京ミッドタウン・デザインハブでは毎年8月に子供向け連続ワークショップ企画「キッズデザインウィーク」を開催している。2018年度は、企業やデザイナー、教育研究機関などが企画・運営する9件を開催。IoTをテーマにしたもの、木工によるものづくり、カメラデザイン、空間デザインなど、多様なデザイン領域をプロの指導によって体験するデザインハブならではの本格的なワークショップを行った。

中学校内ハローワーク講師

2014年度から荒川区立諏訪台中学校からの依頼を受け、「校内ハローワーク」プログラムに協力し、当会職員が「デザイン賞事務局」という職種の紹介を行っている。2018年度は業務の説明とともに審査ワークショップも行った。

宮城大学での受賞デザイナー講座

宮城大学価値創造デザイン学類と連携して、グッドデザイン賞の受賞者による演習講座「Good Design Lecture」を開催した。講師には、2017年度グッドデザイン金賞受賞者プラネット・テーブルの菊池紳氏を招き、食と農を軸としたビジネスデザインについて講義した。

大阪ナレッジキャピタルとの共催企画講座

グランフロント大阪の交流拠点「ナレッジキャピタル」と連携し講座「未来社会のデザインを考える」を共同開催した。初回は、当会参与青木史郎による「日本人は、なぜデザインを必要としたのか?」。2回目はグッドデザイン賞審査委員の伊藤香織氏、橋爪紳也氏を講師に招き「シビックプライド」をテーマに2回開催した。

エコツェリア協会との共催企画講座

エコツェリア協会（一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会）と共催で、イノベーションの創出を目指す人のための5回講座「アフター平成時代を切り拓くための経営マインドとは」を開催した。

事業構想大学院大学との連携企画

プロジェクトデザインで社会を変革する力を持つ人材育成を目指す事業構想大学院大学と連携し、年間を通して月刊誌『事業構想』で連携企画を展開した。7月までは「地域」を、8月以降は「ビジネスデザイン」をテーマに、主にグッドデザイン賞受賞者に取材を行い情報を発信した。



デザインハブ・キッズウィーク



宮城大学での受賞デザイナー講座



大阪ナレッジキャピタル共同企画講座



エコツェリア協会との共催セミナー



月刊誌『事業構想』連載

平成30年度事業報告（総務・管理業務）

1. 会務の実施(役員会等の開催)について

(1)評議員会

回	日時・場所	議題等
第20回	平成30年6月21日(木) 15:00-16:30 当会会議室	議題 ・平成29年度決算報告書(案) ・特定費用準備資金の創設(案) ・臨時評議員会の招集(案)(役員及び評議員の改選日程等) 報告事項 ・平成29年度事業報告書 その他 ・2018年度グッドデザイン賞応募状況・審査開始 ・グッドデザイン・フェロー称号の贈呈者 ・今後の役員会等日程
第21回 (臨時)	平成30年11月13日(火) 17:00-17:15 当会会議室	議題: ・評議員の任期と次期評議員の選定(案) ・評議員候補者選定委員会選定委員の選出(案) ・次期役員(理事、監事)の選定(案) 報告事項 ・平成30年度事業の進捗状況等
第22回	平成31年3月13日(水) 16:30-18:00 当会会議室	議題 ・平成31年度事業計画書(案) ・平成31年度収支予算書(案) ・次期評議員の選任 ・次期役員(理事、監事)の選任 報告事項: ・平成31年度グッドデザイン賞審査委員委嘱(案)並びに グッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱

(参考)「次期評議員候補者(兼役員(理事・監事)候補者)選定委員会」

評議員の任期及び役員(理事、監事)の任期が同時に到来するため、評議員会の決議により「次期評議員

候補者(兼役員(理事・監事)候補者)選定委員会」を3回開催し、候補者推薦調査を実施するとともに、次期役員等候補者を選出した。

第1回：平成30年11月13日(火)

次期役員等候補者推薦調査の実施：平成30年11月16日～12月18日

第2回：平成31年1月15日(火)

第3回：平成31年3月13日(水)

(2)理事会

回	日時・場所	議題等
第25回	平成30年6月5日(火) 16:30-18:00 当会会議室	議題 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告書(案) ・特定費用準備資金(案) ・平成29年度決算報告書(案) ・グッドデザイン・フェロー称号の贈呈候補者(案) ・評議員会の招集(案) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度のグッドデザイン賞事業現況 ・役員及び評議員の選任及び改選日程(案) ・今後の役員会等の日程
第26回	平成30年12月14日(金) 17:00-18:00 当会会議室	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度事業進捗等
第27回	平成31年3月1日(金) 16:30-18:00 当会会議室	議題 <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度事業計画書(案) ・平成31年度収支予算書(案) ・平成31年度グッドデザイン賞審査委員委嘱(案)並びにグッドデザイン・ロングライフデザイン賞審査委員委嘱(案) ・職員の再雇用制度(案) ・評議員会の招集(案) その他

(3)会計監査等

	期末監査： 平成 29 年度決算	期中監査： 平成 30 年度会計処理 於当会会議室	期中監査： 平成 30 年度会計処理 於当会会議室
監事監査	日時：平成 30 年 6 月 4 日 目的：平成 29 年度事業 報告書(案)、平成 29 年 度決算報告書(案)		
監査法人監査 (新日本有限責 任監査法人)	日時：平成 30 年 5 月 16-19 日、5 月 28、30 日 目的：平成 29 年度決算 処理	日時：平成 30 年 12 月 19-21 日 目的：平成 30 年度会計 処理	日時：平成 31 年 1 月 31 日、2 月 13 日 目的：平成 30 年度会計 処理

2. 賛助会員の現状について

平成 30 年度末の賛助会員および情報会員数は 192。(会費は広く公益事業に役立てている。)
近年は、会員企業等の経費削減や組織改編により会員数が漸減傾向にあり、平成 30 年度は 4 団体より退会届が提出されたが、2 団体より新規加入の申し込みがあった。

3. 後援、協賛事業について

平成 30 年度に当会が後援ならびに協賛、協力の名義を提供した外部企画は、46 団体延べ 54 件であり、当会は各地・各種の公益事業に広く協力している。

(1)供与先内訳

自治体及び その関連機関	デザイン専門団体	業界団体	民間企業	教育機関	海外機関	任意団体
11	6	12	8	2	4	3

(2)事業内訳

デザイン展	見本市	デザインコンペ	セミナー・ワークショップ等
8	13	12	21

4. グッドデザイン・フェローについて

(1) グッドデザイン・フェロー称号贈呈式の実施

日時:平成 30 年 12 月 3 日(月) 15:00-17:00

※2018 年度グッドデザイン特別賞贈賞式内にて開催

場所:国際文化会館

(2) 授与者

第 25 回理事会の議決により、下記 2 名に称号を贈呈。(敬称略)

宮崎光弘 / 山本秀夫

5. 業務管理・調整について(規程、内規、業務調整等の実施)

(1) 各種規程・内規等の新設及び改正

年月日	規程等	実施事項	概要
平成 31 年 2 月 13 日	Gマーク使用に関する規則	新設	従来のGマーク使用に関する「Gマーク使用要領」を規則として新たに制定。誤認されうる使用によるトラブルの防止(特に海外での使用など)等のため、ルールを具体的かつ明確にし、係争になる場合の対応も踏まえて制定した。
平成 31 年 2 月 28 日	グッドデザイン賞審査委員及びセミナー講師等の報酬規程	改定	審査委員に対する定額謝金と依頼する原稿料の単価を増額した。
平成 31 年 3 月 1 日	就業規則	改定	「職員の再雇用制度に関する規程」の新設に伴う改定。 (定年退職した職員の再雇用制度について明記。)
平成 31 年 3 月 1 日	職員の再雇用制度に関する規程	新設	「高年齢者雇用安定法」の改正に対応するとともに、現行の「労使協定」の内容を規程明文化した。

(2) 各種業務調整

年月日	項目	実施事項	概要
平成 30 年 7 月 12 日	産前産後休暇中及び育児休業中職員に対する給与、賞与等の支給措置について	事務局長通達	当会規定及び関連法令に基づく、産前産後休暇及び育児休業に係る取扱い事項
平成 31 年 3 月 5 日	平成 30 年度末に向けての経理処理について	事務局長通達	決算に向けての経理処理留意事項

(3)その他

項目	概要
なし	

6. 行政当局等による監査、立ち入り検査等について

平成30年度に実施された監査、検査はない。

7. 資産管理の現状

(1)保有資産

特定資産および一般正味財産において満期償還があり、新発債を購入した。基本財産・特定資産の評価額は、前年度に対し増加した。運用利息は、基本財産は変わらず、特定資産は前年度に対し微減であった。

(2)基本財産・特定資産の構成割合と評価額・運用利息

	資産割合			評価額(円) (3.31.現在)	利息(円) (年間)
	預金	仕組債	国債・地方債・社債等		
H26年度	23.1%	22.7%	54.2%	1,425,831,488	53,357,547
H27年度	0.1%	10.1%	89.8%	1,596,329,150	29,957,499
H28年度	6.6%	10.5%	82.9%	1,524,701,370	23,128,455
H29年度	6.5%	10.2%	83.3%	1,545,532,110	23,005,900
H30年度	3.6%	7.5%	88.9%	1,590,424,620	22,577,322

8. 海外におけるGマークの商標登録の現状

(1)現在、中国・韓国・ドイツ・シンガポール・タイ・香港・台湾で一部の区分において商標権を取得している。

(2)中国においては、2014年に取得した商標権について、3年不使用の取消審判の請求を受け、これに反駁できず一部の物品等の商標権を失った。

(3)インドへの出願(2014年)については、審査継続中である。